

無石綿

関東支社限定品

# NSタイルセメントTM

化粧目地・タイル張付け兼用プレミックスモルタル  
(一社)公共建築協会評価名簿登録品

NS タイルセメント TM は、目地仕上げ兼用タイル張付け用モルタルです。NS タイルセメントの接着性と NS メチセメントの仕上り性を兼ね備えています。

## 特長

- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。
- タイル張付材として安定した接着性が得られます。
- 耐候性に優れているため、いつまでも変わらない色調を保ちます。
- タイル張付材として、一般社団法人公共建築協会の建築材料等評価名簿に規定する既製調合モルタル(タイル工事用)の品質を有しています。

## 標準仕様

製品名	色調	荷姿	適用部位	適用下地	適用タイル	標準調合	塗厚	標準施工面積
NS タイルセメント TM	TM-2 灰色	25kg/袋	内・外壁	モルタル	小口平タイル、 二丁掛タイル	清水 約 5.0ℓ	6~10mm	約 2.5m <sup>2</sup> (6mm 厚)
	TM-3 濃灰色							
	TM-4 黒色							

※炭酸泉等を含む酸性泉を使用している温泉・温水プールなどには、使用しないでください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

色調見本	TM-2	TM-3	TM-4

※印刷のため、実際の色調とは異なる場合がありますので色調決定に当たった際の参考としてください。

※水量や施工法(押え等)により色調に濃淡を生じますので、色調は現場での見本塗り後、決定してください。

## 性能

試験項目	試験結果	(一社)公共建築協会 既製調合モルタル (タイル工事用)の品質基準	
保水率(%)	80.6	70.0 以上	
単位容積質量(kg/ℓ)	1.99	表示項目(1.80以上)	
接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準時	1.51	0.60 以上
	温冷繰り返し後	1.24	0.40 以上
長さ変化率(%)	0.14	0.20 以下	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	6.7	4.0 以上	

※上記試験結果は、JIS 等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

(一財)ベターリビング

## 下地の点検

下地の浮き・割れがないことを確認し、表面の汚れ等を除去してください。浮き・割れ等は適切な処置をしてください。

\*タイルの浮き・はく落の原因となりますので、下地の点検は入念におこなってください。

## 下地処理 (吸水調整塗布)

NS ハイフレックス HF-1000 の 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

\*ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

\*NS ハイフレックス HF-1000 の 5 倍希釈液を塗布する代わりに水湿しをおこなう場合は、タイル張り付け前におこなってください。ただし、夏季は下地の乾燥が著しいため、タイル張りの前日にも散水してください。水湿した後タイル張りをおこなう際の下地の表面状態は、手のひらで押えても水がつかない程度に濡れていることが目安です。乾いていると水湿しの効果が期待できず、ドライアウトによる接着不良が生じるおそれがあります。また、下地面の含水率が高すぎるとタイルがずれて、接着を阻害します。

## 練混ぜ

NS タイルセメント TM25kgに対し、所定量の水を加え、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

\*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季 40 分以内、冬季 60 分以内に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。

## 下地への 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。1 回の塗付け面積は 2m<sup>2</sup> 程度とし、気象条件等により適宜調整してください。

\*安定した接着力を確保するため、1 度に塗り付けしないで、必ず、2 度塗りで所定厚に塗り付けてください。

\*安定した接着力を確保するための塗厚の目安は、以下の通りです。

小口平タイル：6mm

二丁掛タイル：10mm

\*タイルを張り付ける際には、NS タイルセメント TM の表面が指先によく付くことを確認してください。

\*接着不良の原因となりますので、NS タイルセメント TM が指先に付かなくなった（皮張りした）場合は、必ずかき落して、再度塗り付けてください。

\*タイル張付け面にくし目を入れるとタイル裏面に空隙ができ、接着不良の原因となりますのでくし目は入れないでください。

## タイル 張付け

タイル張付け用振動工具を用いてタイルに振動を与え、NS タイルセメント TM に埋め込むように張り付けてください。

\*NS タイルセメント TM がタイルの目地部分からタイル表面に盛り上がるまでタイル張り付け用振動工具で埋め込んでください。

\*タイル張り付け後、目地直しが必要な場合は、速やかにおこなってください。無理な目地直しは接着力が低下する要因となります。

\*JASS 19 セラミックタイル張り工事の仕様に基づいて張り付けてください。

## 目地仕上げ

目地仕上げは盛り上がった NS タイルセメント TM を、目地ごてを用いて所定の形状に仕上げてください。また、後目地施工の場合は、目地の厚みを確保するために目地部の余分なモルタルを取り除いてください。

\*目地ごてで目地を押さえる際には、しまりかけた NS タイルセメント TM を動かさないようにしてください。

\*目地深さは、アリ足を除くタイル厚みの 1/2 以内となるようにしてください。盛り上がりが少なく 1/2 より目地が深くなる場合には、NS タイルセメント TM でさし目地し、目地深さが 1/2 以内となるように調整するか、後目地施工してください。

## 養生

降雨・降雪のおそれがある場合は、シート掛け等の養生をおこなってください。また、通風・直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。

\*浮き・はく落の原因となりますので、タイル張付け後、3 日程度は降雨・降雪の影響を受けないよう必ずシート掛け等の養生をおこなってください。

\*接着力低下の原因となりますので、張付けモルタルの強度が安定するまでは過度な振動や衝撃を避けてください。強度安定までの目安は夏季 7 日以上、冬季 14 日以上です。

\*塗付け後、後目地施工の場合は、夏季 7 日以上、冬季 14 日以上養生をおこなってください。



## 使用上の注意

■気温が 3℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。

■練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■製品は製造年月日を確認し、3 ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。